

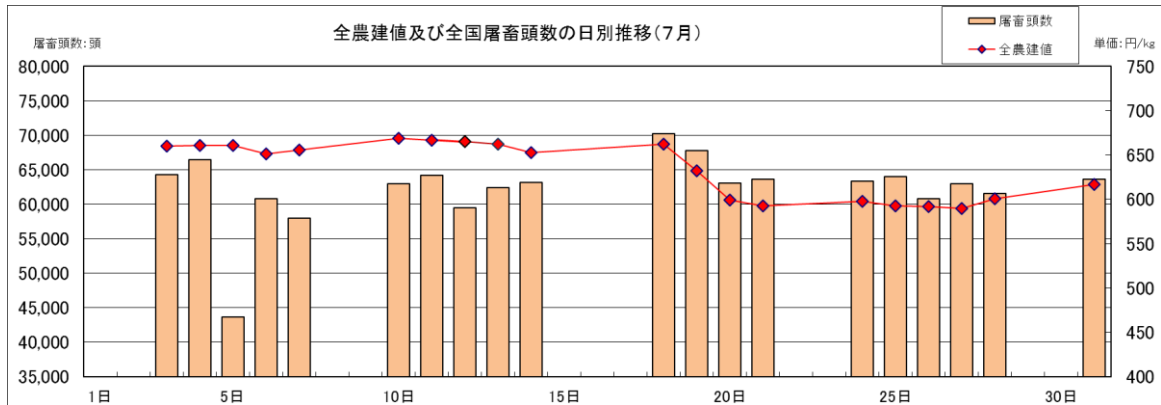
肉豚インフォメーション（7月）

● 7月の動向

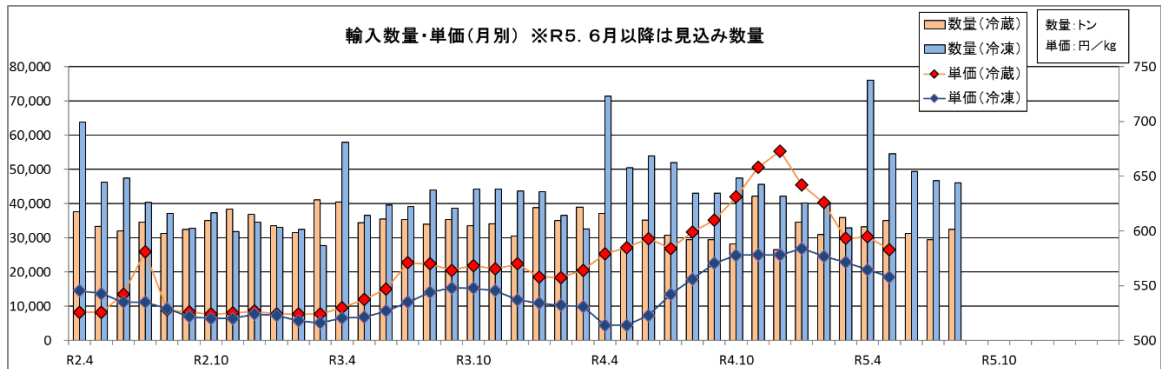
2023年7月（税抜）	2022年7月（税抜）
634円/kg（0円）	634円/kg

※全農建値

7月は、上旬の出荷頭数が少なかったこともあり660円を超える高値で推移したが、学校給食の需要減などにより600円を割ったものの底堅い相場展開となった。

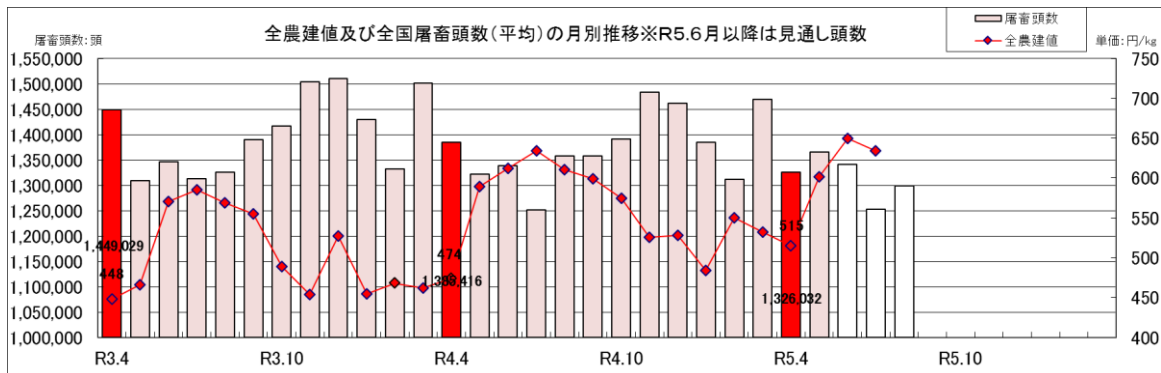


● 輸入動向



● 8月の動向

8月の出荷頭数は、前年同月をわずかに下回ると予測されている。



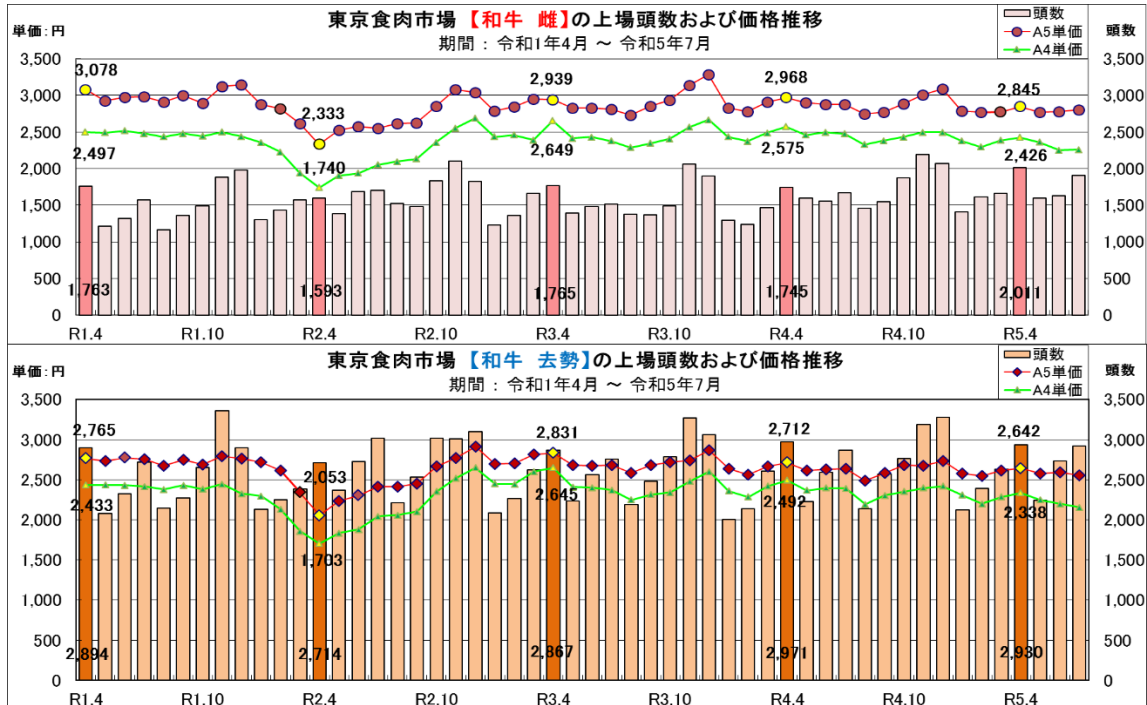
8月の相場は、堅調に維持する見通し。

全農建値（税抜）予測レンジは620円～700円とする。

肉牛インフォメーション（7月）

● 7月の動向

末端需要が弱かったものの共励会等で良質な枝肉が増えたこともあり、大きな値崩れはなく弱もちあい推移した。和牛の上物は概ね相場を維持したが、2・3等級は緩んだ。交雑牛の4等級は比較的堅調だった。



● 8月の動向予測

例年、8月の相場は7月より下がる傾向がある。旧盆以降は軟調な相場が見込まれるため、7月相場の弱もちあいと予想。

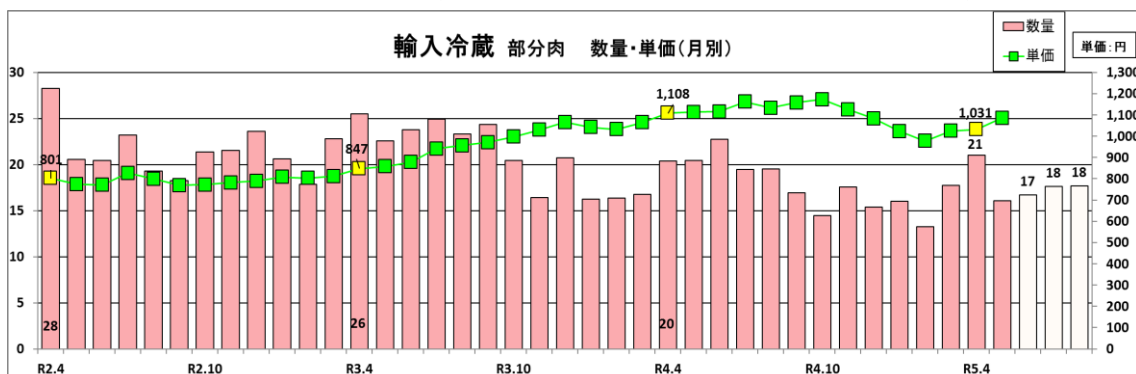
8月相場は「軟調」の展開と予想。

和牛去勢 A5等級 2,550円（税込み） A4等級 2,150円（税込み）

交雑去勢 B4等級 1,600円（税込み） B3等級 1,500円（税込み）

● 輸入牛肉

冷蔵品輸入量は、需要が低迷する中、米国産の現地価格の高騰による減少等もあり、7月、8月ともに前年同月をかなりの程度下回ると予測する。なお、3カ月平均でも、前年同期を大幅に下回ると予測する。（ALIC牛肉の需給予測について7月27日）



食肉インフォメーション（7月）

●消費動向

○牛肉

7月は気温上昇に伴い焼肉用のモモ・バラが動きを見せたが、ロイン系は外食・観光需要が回復を見せる中でも低調となった。8月は値上げラッシュによる節約志向から、引き続き高級部位は苦戦が予想される。

○豚肉

7月は暑さによる出荷減少と相場高の影響で、スソ物中心の荷動きとなった。8月も猛暑と節約志向による消費不振から、ロース・肩ロース・バラ等の動きは鈍く、スソ物に需要が集まる見通し。

●業態別概況

表：全農いばらき食肉センター 業態別取引先実績（令和5年6月期） 単位：千円、%

年度	J A	どきどき	給食	仲卸	食肉 専門店	量販店	飲食店	合計
令和3年度6月	12,548	13,903	10,509	34,890	14,300	9,636	9,281	105,067
令和4年度6月	10,756	12,055	10,444	32,316	15,109	10,150	6,352	97,182
令和5年度6月	11,472	14,174	10,506	31,396	19,925	9,055	6,331	102,859
増減 (R5-R4)	716	2,119	62	-920	4,816	-1,095	-21	5,677
対比 (R3/R5)	91%	102%	100%	90%	139%	94%	68%	98%
対比 (R4/R5)	107%	118%	101%	97%	132%	89%	100%	106%